

ビバリー・アン・カーター教授が旭日小綬章を受章



ビバリー・アン・カーター教授が「旭日小綬章」を受章

2023年4月29日、日本政府は、西インド諸島大学（UWI）セント・オーガスティン校・言語学習センター元所長であるビバリー・アン・カーター氏に対する、2023年春の叙勲「旭日小綬章」の授与を発表しました。日本とトリニダード・トバゴ間の学術交流と相互理解の促進に対する彼女の並外れた貢献が認められたものです。

1875年に制定された旭日章は、日本政府によって制定された日本初の勲章です。朝日から降り注ぐ陽光と、桐の花と葉の形をしたアタッチメントが特徴で、日本と外国との関係発展に多大な貢献等をした外国人も含め、国家または公共に対して顕著な功績を挙げた方に授与されます。

カーター教授は、西インド諸島大学セント・オーガスティン・キャンパスでフランス語の講師及び上級講師を務め、人文・教育学部の副学部長を務めた後、言語学習センター長を約17年務めました。

同教授は、語学学習センター（CLL）の所長として17年間、日本とトリニダード・トバゴの間の学術交流と相互理解の促進に貢献しました。特に、CLLでの日本語教育を推進するとともに、CLLで日本文化展や文化祭を開催するなど、日本理解の促進にも貢献してきました。2019年8月には、西インド諸島大学の言語学習センターが、この国の20年以上にわたる日本語教育への貢献に対して、外務大臣表彰を受賞しました。



2019年8月、カーター教授、平山・元在トリニダード・トバゴ日本国大使(当時)と言語学習センターの教職員たち